

# Business Report

## 第74期 報告書

2017年10月1日～2018年9月30日



プロセステクノロジーで未来を拓く

**ホソカワミクロン** 株式会社

# 高付加価値製品・システムの販売により過去最高益を更新しました。

## 事業環境と当期業績について

株主のみなさまには、日ごろから当社グループの事業運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界経済は、米国の保護主義的な政策

や、英国のBrexitに対する先行きの不透明感、さらには米中貿易摩擦を背景とした製造業での生産や投資抑制、日本での相次ぐ自然災害の影響など様々な懸念はあるものの、企業の堅調な業績と設備投資意欲により設備投資も緩やかに増加

基調となっております。

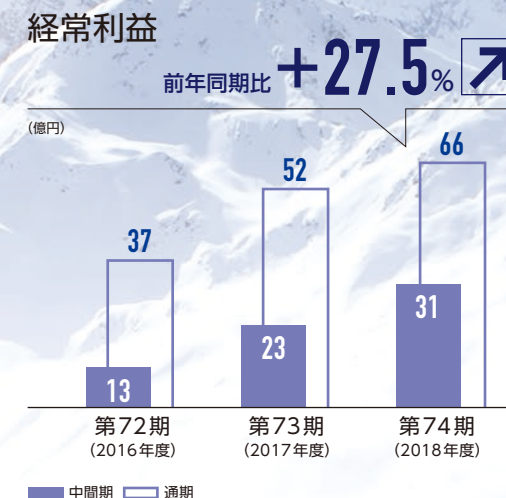
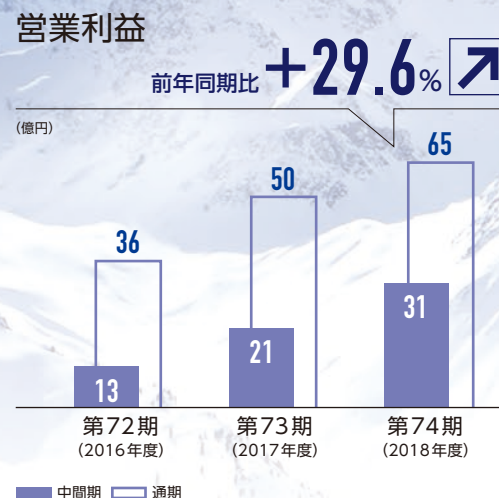
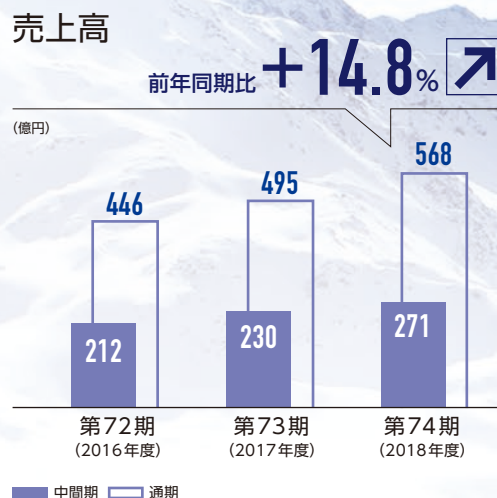
このような状況下、当社グループは、世界的に堅調な設備投資の恩恵を受け、当期(2017年10月1日～2018年9月30日)業績は順調に推移しました。特に主力の粉体関連事業においては、受注が高水準に推移しており、プラスチック薄膜関連事業においても堅調な受注が続いております。その結果、受注は前年度を1.0%上回る563.8億円となりました。今期前半伸び悩んだ医薬向け、昨年度大幅に増加した食品やミネラル向けはその反動により受注減となったものの、電池、磁石、セラミックコンデンサなどの電子材料関係や、樹脂、化学向け、アフター

セールス部門など、万遍なく好調に推移しました。

高水準であった期初の繰り越し受注残高及び好調な受注により、売上高は、前年同期比14.8%増の568.5億円となりました。また、期末にかけて想定以上に順調に出荷も進んだことから、修正公表値をも上回りました。

売上総利益率は、増収効果や当社グループが得意とする高付加価値製品・システム、利益率の高いアフターサービス関連の売上により、前年同期比でさらに0.5%ポイント向上し、36.9%となり、営業活動の増加に伴う販管費の増加をも吸収し、営業利益は65.4億円となり、経常利益

## 財務ハイライト



から親会社に帰属する当期純利益まで、すべての利益面においても過去最高益を更新しました。

株主様への還元につきましては、業績の変化を反映させつつ、安定的な利益配分による1株当たり配当金額の増加に努めるなど総配分性向の向上を図る方針から、当初予想を上回る業績に鑑み、当期の1株当たり期末配当金は60円とし、実施済みの中間配当金50円と合わせて年間110円とさせていただきます。

## 今後の見通しと事業戦略について

全主要子会社の業績に回復基調が

定着し、昨年度からの繰り越し受注残高は高水準にあるものの、中国経済の減速懸念や保護貿易主義の加速、中東の地政学的リスク、各国での政局の右傾化、Brexit問題など、過年度より世界経済の減速のリスクが高まっています。

粉体関連及びプラスチック薄膜両事業において豊富な受注残高を持ってスタートしますが、第2四半期以降の売上は若干勢いが鈍り、加えて受注残案件の利益率は最高水準であった前年度に比較すると、低下が予想されます。

中期計画に掲げたグループシナジー効果創出を目的としたグローバルマーケティングは、インダストリー 4.0を実現

するためのデジタルサービスとしてHOSOKAWA GEN4(詳細は事項トピックスで紹介)による粉体技術の新しいマーケット創出やグループ各企業の強みを活かした販促・成長戦略の展開に向け、活動を加速していく方針です。

株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご理解、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

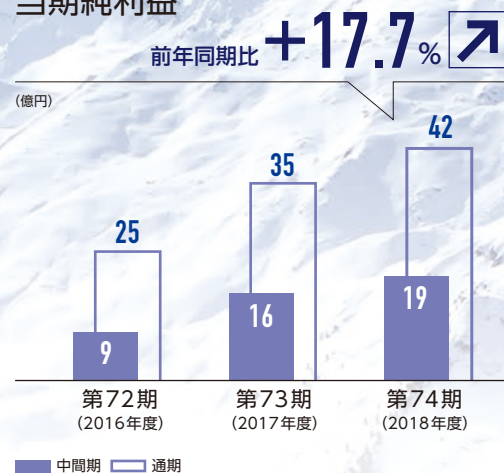
2018年12月



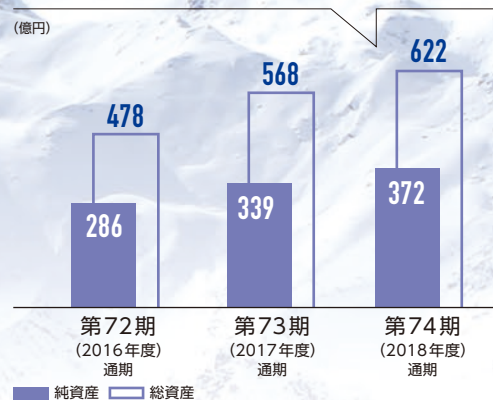
代表取締役会長 兼 社長  
代表執行役員

細川 悦男

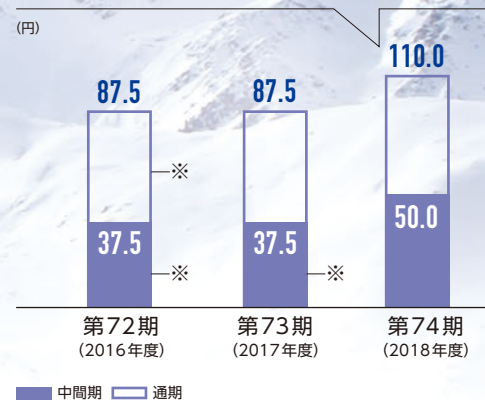
### 親会社に帰属する 当期純利益



### 総資産・純資産



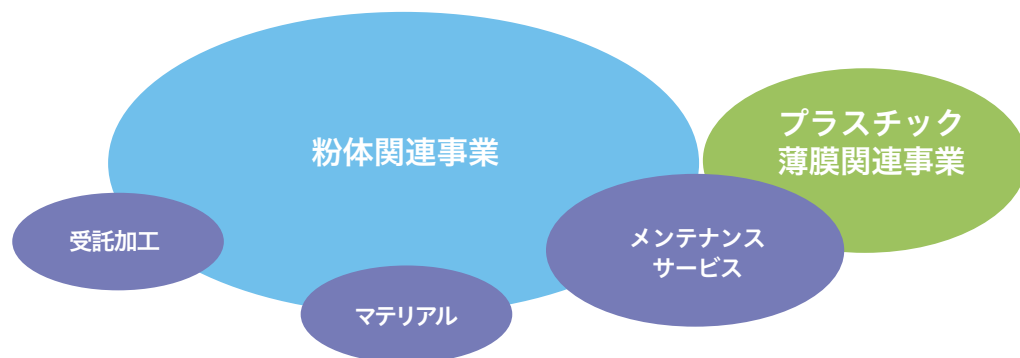
### 1株当たり配当金



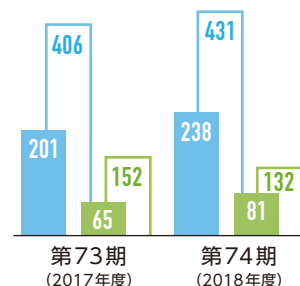
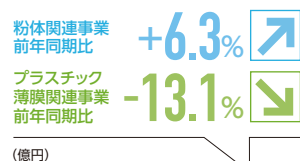
※2017年4月1日、普通株式5株を1株とする株式併合を実施。株式併合前の配当金については、併合後の基準にて換算し、記載。

# 粉体技術の開発を通じて社会に貢献しています。

当社は1916年の創業以来、“粉体技術”で世界の産業に貢献することを企業理念として事業を展開してまいりました。さまざまな粉体技術の分野における優れた製品群を峰々とし、それらを結びつけ、組み合わせるノウハウやエンジニアリング等の周辺技術をすそ野に配した雄大なホソカワの“粉体技術連峰”を形成することにより、常にグローバル・リーディングカンパニーであり続けます。

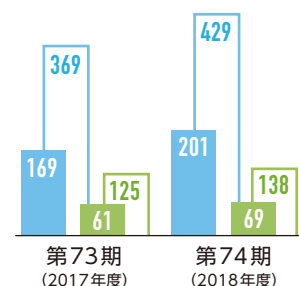
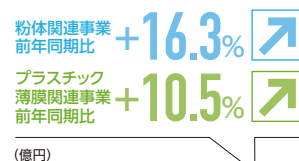


## 受注高

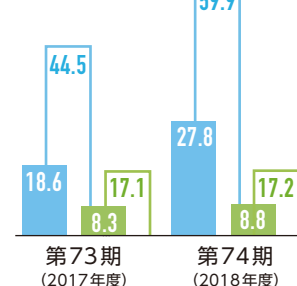
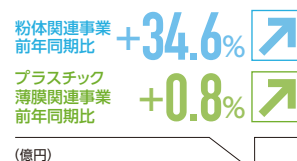


粉体関連事業 中間期 通期    プラスチック薄膜関連事業 中間期 通期

## 売上高



## 営業利益



## 粉体関連事業

さまざまな産業分野で用いられる粉状の原料や製品について、砕く、大きさ別に分ける、混ぜる、乾かす等の加工を行う粉体処理装置および日本市場における環境保全や製品捕集に用いる集じん装置の開発・製造・販売とシステムエンジニアリングを行う事業です。

また、ナノ複合粒子技術を応用した新素材や化粧品・育毛剤等の開発・製造・販売・受託研究を行うマテリアル事業、材料の加工を請け負う受託加工事業も当事業の一翼を担っています。

売上構成比

75.6%

### <業績のポイント>

- 全グループ会社、総じて好調に推移。特に日本と欧州子会社が好業績。
- 電子材料、ミネラル、化学品や樹脂関連向けなど全般的に好調を維持。
- 地域別では、英国向けが減少するもドイツ、イタリアなどを中心に欧州全体として好調を維持。その他地域としては中近東向けやアフリカ向けが貢献。
- 収益性の良い高付加価値製品や戦略的事業の一つであるメンテナンスサービスの続伸等で営業利益が大幅に増加。

## プラスチック薄膜関連事業

食品包装や電子機器類保護に用いる多層構造の高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売とシステムエンジニアリングを行う事業です。当事業を展開するホソカワアルピネAG(ドイツ)は、インフレーション法による薄膜製造装置の専門ブランドとして、世界で広く認知されています。

売上構成比

24.4%

### <業績のポイント>

- アメリカ向けは、大型案件も多く好調を継続し業績に大きく寄与。
- 中国、インド、中近東向けは堅調。その他のアジア向け、旧東欧を含む欧州、新興国市場向けも徐々に拡大。
- 期初の豊富な受注残高により増収増益。

# ホソカワの「粉体技術・プラスチック薄膜技術」がさまざまな産業を支えています。

ものづくりには複数の工程があり、原料、中間工程、最終製品のいずれかの工程で粉の状態になります。

当社の技術や製品はものづくりに不可欠な存在として、世の中の暮らしを支えています。



## グローバルネットワーク

### 世界

**13カ国、17社、22拠点**

国内 2社、6拠点

海外 15社、16拠点

#### 粉体関連事業

- 製造・販売会社：国内1、海外4
- 販売会社：国内1、海外7
- 製造・販売部門：海外2
- 販売部門：海外1
- ▲ 駐在員事務所：海外1

#### プラスチック薄膜関連事業

- 製造・販売会社：海外2
- 販売会社：海外1

### Europe

- ドイツ**  
ホソカワアルピネAG  
ホソカワミクロンパウダーズGmbH  
ホソカワコルプGmbH
- オランダ**  
ホソカワミクロンB.V.
- イギリス**  
ホソカワミクロンLtd.
- フランス**  
ホソカワミクロンフランス支店
- ロシア**  
ホソカワミクロンサンクトペテルブルグOOO

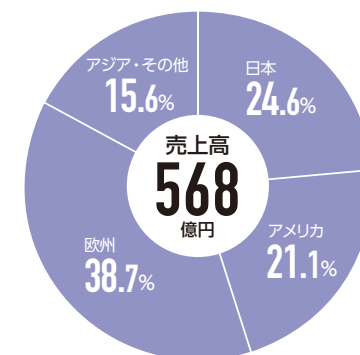
### Asia

- 日本**  
ホソカワミクロン(株)  
ホソカワミクロン化粧品(株)  
ホソカワミクロンワグナー(株)※
- 韓国**  
ホソカワミクロン 韓国Ltd.
- 中国**  
ホソカワミクロン(上海)粉体机械有限公司
- マレーシア**  
ホソカワミクロンマレーシア Sdn. Bhd.
- タイ**  
ホソカワミクロン タイ駐在員事務所
- インド**  
ホソカワミクロンインドLtd.

### America

- アメリカ**  
ホソカワミクロンインターナショナルInc.  
ホソカワアルピネ アメリカンInc.
- メキシコ**  
ホソカワミクロンメキシコS.A. de C.V.

納入地域別売上比率 (2018年度)



※ ●ホソカワミクロンワグナー(株)は、ワグナー社(ドイツ)との合併による持分法適用関連会社(事業内容)粉体塗装機器および関連部品の輸入・販売・サービスならびに関連事業

## [基本方針] グループ一体となったグローバルマーケティング推進によるブランド力と収益力の強化

### 第16次中期3カ年経営計画（2017年10月～2020年9月）

#### 基本施策

グローバルマーケティングの強化による事業拡大

アフターセールス、受託加工事業の拡大および顧客満足の上昇

営業、技術、生産、研究開発、財務におけるグループ戦略の構築・遂行

新製品開発と製品改良による高付加価値化とコストダウンの推進

業務・製造プロセスの分析と見直しによるグループ事業運営の最適化

### 2019年度 重要施策

- グローバルマーケティング戦略の確立による販促活動の推進
- IoTの粉体プロセス技術への応用と市場ニーズに裏付けられた競争力の高い製品開発
  - ▶ グループが一丸となって製品、技術、アプリケーションの開発と販売に取り組みます。その一環としてIoT技術「HOSOKAWA GEN4」実証実験用の小型システムを構築し、国際粉体工業展で発表しました。さらにデータ解析を進め、粉体業界でトータルソリューションを提供いたします。
- 受託加工事業における食品分野への進出と強化
  - ▶ 食品原料や活況市場への積極的な営業展開により事業規模の拡大を図ります。
- 中国、韓国、東南アジア市場への更なる深耕とアジア販売子会社の強化
  - ▶ 2018年10月より、新たにタイ駐在事務所を設置し、現地での営業力を強化することにより、新規案件、新規顧客の開拓を図ります。
- 大阪工場建替プロジェクトの推進と製造技術の伝承
  - ▶ 売上確保のため工場稼働を最優先し、当初予定より半年遅れで進捗中。2018年12月から本工事が始まり、2020年12月に竣工予定です。
- 事業環境への柔軟かつ迅速な対応と徹底した無駄の排除による収益体制の構築
  - ▶ IT活用を加速し、徹底したコスト管理の下、収益力の向上を図ります。

## 当社独自のIoT技術を粉体プロセスで実用化



**HOSOKAWA GEN4**  
Data Driven Manufacturing

近年の生産プロセスでは、生産性向上や省エネルギー化ニーズが高まっており、加えて作業者の高齢化に伴う技術継承も大きな課題となっています。これらを解決するためIoT(モノのインターネット)技術により収集したデータの解析結果を活用する試みが世界中で行われています。

しかし粉体は取り扱いが難しく、製品から運転データをリアルタイムに入手し、必要なデータを収集することは極めて困難です。そのため従来は、粉体プロセスにおけるIoT技術の活用はほとんど不可能に近い状態とされていました。

当社グループでは、業界内で先駆けて粉体工業向けのIoT技術「HOSOKAWA GEN4」の研究開発を始めており、実証実験用の小型システムを2018年に構築しました。

「HOSOKAWA GEN4」の粉体プロセスへの展開により、設備の運転データの遠隔監視や、データ解析により技術の継承や予防保全に役立つことが期待され、今後当社グループの粉体プロセスの根幹技術の一つになると確信しています。

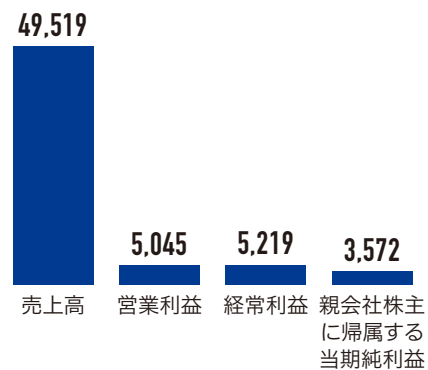


実証実験用システムを用いて、製品の運転データの「見える化」が可能に

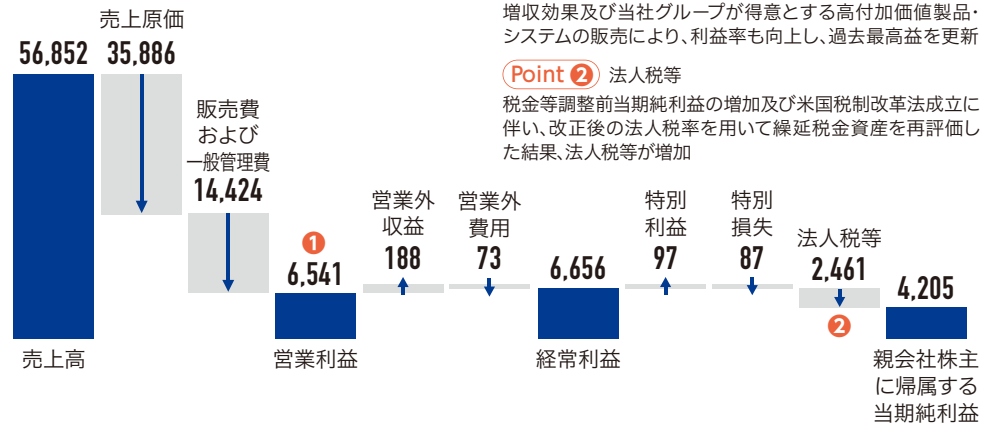
## 損益計算書の概要

(百万円)

前期 (2016年10月1日～2017年9月30日)



今期 (2017年10月1日～2018年9月30日)

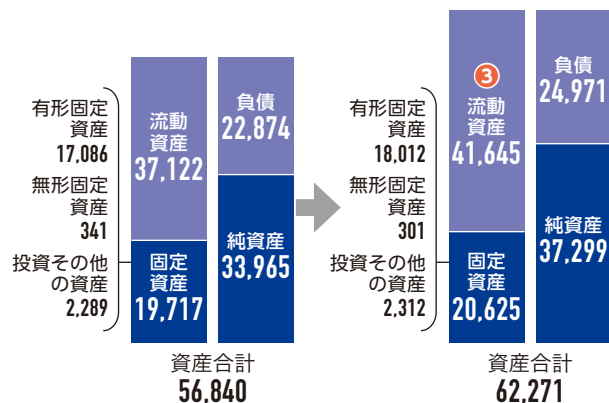


## 貸借対照表の概要

(百万円)

前期末  
(2017年9月30日現在)

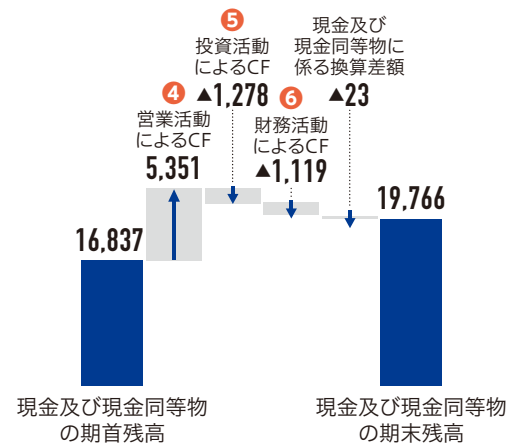
今期末  
(2018年9月30日現在)



## キャッシュ・フロー計算書の概要

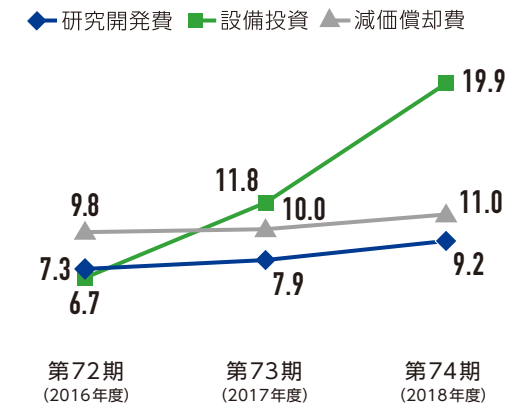
(百万円)

今期 (2017年10月1日～2018年9月30日)



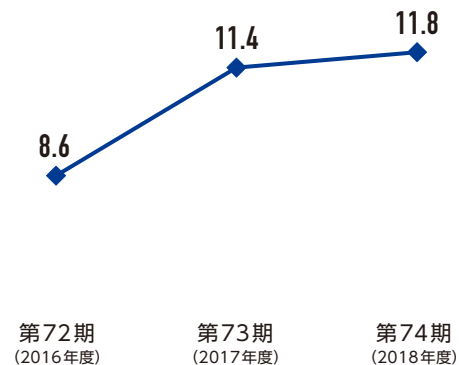
## 研究開発費・設備投資・減価償却費の推移

(億円)



## ROE (自己資本利益率) の推移

(%)



**会社概要** (2018年9月30日現在)

商 号 ホソカワミクロン株式会社  
英 文 商 号 HOSOKAWA MICRON CORPORATION  
創 業 大正5年4月18日(1916年)  
設 立 昭和24年8月13日(1949年)  
資 本 金 144億96百万円  
従 業 員 数 354名(単体)、1,539名(連結)

**役員** (2018年12月18日現在)

代表取締役会長兼社長 ..... 細川 悦男  
代表執行役員  
常務取締役  
専務執行役員 ..... 木原 均  
取締役  
常務執行役員 ..... 井上 鉄也  
取締役  
常務執行役員 ..... 猪ノ木 雅裕  
取締役(社外) ..... 宮崎 健  
取締役(社外) ..... 高木 克彦  
取締役(社外) ..... 藤岡 龍生  
  
監査役(常勤) ..... 福井 雄二  
監査役(社外) ..... 國分 博史  
監査役(社外) ..... 荒尾 幸三

常務執行役員 ..... 白谷 晴男

執行役員 ..... 花川 忠己  
執行役員 ..... 塚田 義員  
執行役員 ..... 辻本 広行  
執行役員 ..... 野原 伸介  
執行役員 ..... 馬場 武史  
執行役員 ..... 日野 厚利  
執行役員 ..... 内田 良範  
執行役員 ..... 向河原 栄  
執行役員 ..... 矢野 浩  
執行役員 ..... 立山 栄一  
執行役員 ..... 細川 晃平

**株式の状況** (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 19,869,400株  
発行済株式の総数 8,615,269株  
株 主 数 5,106名

**大株主** (2018年9月30日現在)

| 株主名                   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------------|---------|---------|
| 日清製粉グループ本社            | 500     | 6.10    |
| 日本マスタートラスト信託銀行(信託口)   | 433     | 5.29    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) | 373     | 4.56    |
| 三井住友信託銀行              | 300     | 3.66    |
| 三井住友銀行                | 282     | 3.44    |
| 東豊産業                  | 273     | 3.34    |
| 細川悦男                  | 209     | 2.55    |
| 日清エンジニアリング            | 206     | 2.52    |
| 京都銀行                  | 200     | 2.44    |
| 自社取引先持株会              | 178     | 2.18    |

(注1) 上記のほか当社保有の自己株式423千株があります。  
(注2) 株式比率は発行済株式を総数から自己株式(423千株)を控除して算出しています。

**株主メモ**

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで  
定 時 株 主 総 会 毎年12月  
基 準 日 定時株主総会 毎年9月30日／期末配当 毎年9月30日／中間配当 毎年3月31日  
そのほか必要なときは、あらかじめ公告して定めた日

公 告 の 方 法 電子公告(当社ホームページに掲載いたします)  
https://www.hosokawamicron.co.jp/

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株 主 名 簿 管 理 人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
( 郵 便 物 送 付 先 ) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
( 電 話 照 会 先 ) 0120-782-031  
(インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

**住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**  
株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**未払配当金の支払いについて**  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。  
※配当金は支払開始の日から満3年(除斥期間)を経過しますと当社定款の定めにより、お支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

**配当金計算書について**  
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

「コーポレートガバナンスに関する報告書」を当社ホームページ内の「投資家の皆様へ」のページに掲載しております。

株主優待の実施について

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期にわたり継続して当社株式を保有していただくことを目的として、新たに株主優待制度を導入いたしました。

**対象となる株主様**  
毎年9月30日時点の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様。

**株主優待の内容**  
右記の通り、保有株式数、保有期間の区分に応じて、当社グループ会社(ホソカワミクロン化粧品(株))の商品(化粧品、シャンプー、コンディショナー等)を贈呈いたします。

**贈呈時期**  
毎年1月中旬頃の発送を予定しております。

| 保有株式数        | 継続保有期間及び優待内容 |           |
|--------------|--------------|-----------|
|              | 3年未満         | 3年以上※     |
| 100株以上500株未満 | 5,000円相当     | 7,000円相当  |
| 500株以上       | 10,000円相当    | 15,000円相当 |

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月末及び9月末時点の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して記載された株主様といたします。



15,000円相当の商品

